

平成20年10月6日

各 位

岐阜県岐阜市江添1丁目1番1号
株式会社 ヒマラヤ
取締役社長 小森 裕作
(コード番号：7514 東証・名証2部)
問合せ先：常務取締役 谷口 光春
(TEL 058-271-6622)

(訂正) 平成20年8月期決算短信の一部訂正に関するお知らせ

平成20年9月30日提出「平成20年8月期決算短信」において、当社連結子会社の株式会社eSPORTS（平成20年9月1日に株式会社モトスに社名変更）についての子会社整理損失引当金を、連結財務諸表・個別財務諸表ともに350百万円引当計上しました。

ただし、当社で平成20年9月24日に子会社である株式会社モトスの解散決議をした以降、子会社整理損失見込額のほとんどが子会社貸付金の貸倒れになることが明らかとなり、これを踏まえると連結財務諸表では子会社整理損失引当金 350百万円を消去するのが妥当でありましたので、連結財務諸表において子会社整理損失引当金の計上を取り消し訂正いたしました。

また、平成21年8月期の個別業績予想（平成20年9月1日～平成21年8月31日）において、対前年同四半期増減率および対前期増減率の表示に一部誤りがありましたので訂正いたしました。

これらの内容にて、「平成20年8月期決算短信」の訂正内容を報告するものであります。

なお、訂正箇所には下線を付しております。

記

(1ページ) 1. 平成20年8月期の連結業績（平成19年9月1日～平成20年8月31日）

(百万円未満切捨て)

【訂正前】

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年8月期	43,174	15.1	1,621	76.7	1,597	69.6	342	<u>△12.5</u>
19年8月期	37,517	12.4	917	<u>△16.1</u>	942	<u>△11.0</u>	391	<u>△30.1</u>

	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益		自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円	銭	円	銭	%	%	%
20年8月期	<u>28</u>	<u>57</u>	—	—	3.8	6.5	3.7
19年8月期	32	65	32	53	4.5	4.1	2.4

(参考) 持分法投資損益 20年8月期 — 百万円 19年8月期 — 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭
20年8月期	25,209		<u>9,002</u>		35.7	<u>751</u>	<u>17</u>
19年8月期	24,262		8,871		36.6	740	22

(参考) 自己資本 20年8月期 9,002百万円 19年8月期 8,871百万円

【訂正後】

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年8月期	43,174	15.1	1,621	76.7	1,597	69.6	692	76.9
19年8月期	37,517	12.4	917	△16.1	942	△11.0	391	△30.1

	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益		自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円	銭	円	銭	%	%	%
20年8月期	57	77	—	—	7.6	6.5	3.7
19年8月期	32	65	32	53	4.5	4.1	2.4

(参考) 持分法投資損益 20年8月期 — 百万円 19年8月期 — 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭
20年8月期	25,209	9,352	9,352	37.1	780	37	
19年8月期	24,262	8,871	8,871	36.6	740	22	

(参考) 自己資本 20年8月期 9,352百万円 19年8月期 8,871百万円

(1ページ) 2. 配当の状況

【訂正前】

(%表示は、通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

(基準日)	1株当たり配当金					配当金総額 (年間)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)	
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間				
	円	銭	円	銭	円	銭	百万円	%	%
19年8月期	0	00	6	00	0	00	143	36.7	1.7
20年8月期	0	00	6	00	0	00	143	42.0	1.6
21年8月期(予想)	0	00	6	00	0	00	—	—	—

【訂正後】

(基準日)	1株当たり配当金					配当金総額 (年間)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)	
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間				
	円	銭	円	銭	円	銭	百万円	%	%
19年8月期	0	00	6	00	0	00	143	36.7	1.7
20年8月期	0	00	6	00	0	00	143	20.8	1.6
21年8月期(予想)	0	00	6	00	0	00	—	—	—

(2 ページ) (参考) 個別業績の概要

【訂正前】

2. 平成21年8月期の個別業績予想 (平成20年9月1日～平成21年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期累計期間	23,100	10.2	861	△37.9	830	<u>38.7</u>	449	<u>35.6</u>	37	46
通期	46,200	10.4	1,600	△13.3	1,550	<u>15.1</u>	809	28.8	67	50

【訂正後】

2. 平成21年8月期の個別業績予想 (平成20年9月1日～平成21年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期累計期間	23,100	10.2	861	△37.9	830	<u>△38.7</u>	449	<u>△35.6</u>	37	46
通期	46,200	10.4	1,600	△13.3	1,550	<u>△15.1</u>	809	28.8	67	50

(3 ページ) (1) 経営成績に関する分析 当期の経営成績

【訂正前】

当連結会計年度（平成19年9月1日～平成20年8月31日）におけるわが国経済は、当初景気は回復しているとされたものの、企業部門の収益の弱含みや生産の横ばいなどから途中足踏み状態となり、サブプライム住宅ローン問題を背景とするアメリカ経済の減速や株式・為替市場の変動、原油等原材料価格の高騰などにより、景気後退の局面となりました。そのなかで個人消費は当初持ち直したものの、その後は横ばいから落ち込みを示し始めておりません。

このような状況下、当社は、事業拡大のため新規出店や増床を積極的に進めながら採算性の低い店舗の再生もしくは退店・移転を行いました。売上はゴルフウェアやトレーニングウェアなど衣類の販売が好調だったうえに、ゴルフクラブのルール改正に伴う買い替え需要が高まったこと、また、野球・サッカーといった一般スポーツ用品やキャンプ用品なども総じて好調であったことから、当連結会計期間の当社単体売上は、既存店で前年同期比3.3%、全体で前年同期比16.5%の増収となりました。

また、利益は、ウインタースポーツ用品やゴルフ用品、衣料類の粗利益率の改善と広告宣伝費、人件費、物流費など諸経費の削減に努め、リース会計制度の変更に伴うリース活用方針の変更による設備費の上昇はありながらも営業利益が前年同期比61.8%増加いたしました。一方、子会社である株式会社eSPORTSは、事業建て直しに向けて過剰在庫の消化に努めましたが、粗利益率の低下に経費削減効果が追いつかず、285百万円の当期純損失を計上いたしました。

当社の店舗につきましては、平成19年9月にユニモちはら台店（千葉県市原市）、大村店（長崎県大村市）、岩出店（和歌山県岩出市）、ケーズタウン女池店（新潟県新潟市）、平成20年3月にゴルフ三田店（兵庫県三田市）、4月に伊勢崎店（群馬県伊勢崎市）、佐世保店（長崎県佐世保市）、6月にロックタウン周南店（山口県周南市）、アクロス鈴鹿店（三重県鈴鹿市）、ゴルフアクロス鈴鹿店（三重県鈴鹿市）の10店舗を出店し、平成20年2月にイオン八代店（熊本県八代市）、5月に鈴鹿中央通り店（三重県鈴鹿市）、8月に京都伏見店（京都市伏見区）の3店舗を退店いたしました。これにより全国79店舗、売場面積166,059㎡となりました。

以上の結果、当連結会計年度の当社連結売上高43,174百万円（前年同期37,517百万円）連結営業利益1,621百万円（前年同期917百万円）、連結経常利益1,597百万円（前年同期942百万円）と過去最高の経常利益を計上いたしました。一方、連結当期純利益につきましては、株式会社eSPORTSの事業譲渡に伴う特別損失35百万円および子会社整理損失引当金350百万円を始めとした特別損失603百万円を計上したため、342百万円（前年同期391百万円）となりました。

【訂正後】

当連結会計年度（平成19年9月1日～平成20年8月31日）におけるわが国経済は、当初景気は回復しているとされたものの、企業部門の収益の弱含みや生産の横ばいなどから途中足踏み状態となり、サブプライム住宅ローン問題を背景とするアメリカ経済の減速や株式・為替市場の変動、原油等原材料価格の高騰などにより、景気後退の局面となりました。そのなかで個人消費は当初持ち直したものの、その後は横ばいから落ち込みを示し始めておりません。

このような状況下、当社は、事業拡大のため新規出店や増床を積極的に進めながら採算性の低い店舗の再生もしくは退店・移転を行いました。売上はゴルフウェアやトレーニングウェアなど衣類の販売が好調だったうえに、ゴルフクラブのルール改正に伴う買い替え需要が高まったこと、また、野球・サッカーといった一般スポーツ用品やキャンプ用品なども総じて好調であったことから、当連結会計期間の当社単体売上は、既存店で前年同期比3.3%、全体で前年同期比16.5%の増収となりました。

また、利益は、ウインタースポーツ用品やゴルフ用品、衣料類の粗利益率の改善と広告宣伝費、人件費、物流費など諸経費の削減に努め、リース会計制度の変更に伴うリース活用方針の変更による設備費の上昇はありながらも営業利益が前年同期比61.8%増加いたしました。一方、子会社である株式会社eSPORTSは、事業建て直しに向けて過剰在庫の消化に努めましたが、粗利益率の低下に経費削減効果が追いつかず、285百万円の当期純損失を計上いたしました。

当社の店舗につきましては、平成19年9月にユニモちはら台店（千葉県市原市）、大村店（長崎県大村市）、岩出店（和歌山県岩出市）、ケーズタウン女池店（新潟県新潟市）、平成20年3月にゴルフ三田店（兵庫県三田市）、4月に伊勢崎店（群馬県伊勢崎市）、佐世保店（長崎県佐世保市）、6月にロックタウン周南店（山口県周南市）、アクロス鈴鹿店（三重県鈴鹿市）、ゴルフアクロス鈴鹿店（三重県鈴鹿市）の10店舗を出店し、平成20年2月にイオン八代店（熊本県八代市）、5月に鈴鹿中央通り店（三重県鈴鹿市）、8月に京都伏見店（京都市伏見区）の3店舗を退店いたしました。これにより全国79店舗、売場面積166,059㎡となりました。

以上の結果、当連結会計年度の当社連結売上高43,174百万円（前年同期37,517百万円）連結営業利益1,621百万円（前年同期917百万円）、連結経常利益1,597百万円（前年同期942百万円）と過去最高の経常利益を計上いたしました。一方、連結当期純利益につきましては、株式会社eSPORTSの事業譲渡に伴う特別損失35百万円を始めとした特別損失253百万円を計上したため、692百万円（前年同期391百万円）となりました。

(3～4ページ) (2)財政状態に関する分析

【訂正前】

①当連結会計年度末の資産、負債、純資産の状況は次のとおりであります。

総資産 25,209百万円 (前連結会計年度比 3.9%増)

負債 16,206百万円 (前連結会計年度比 5.3%増)

純資産 9,002百万円 (前連結会計年度比 1.5%増)

②当連結会計年度のキャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金および現金同等物 (以下「資金」とする) は、前連結会計年度末に比べ761百万円増加し、2,807百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、2,612百万円 (前期は410百万円の減少) となりました。

これは、主に税金等調整前当期純利益の増加およびたな卸資産の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、1,251百万円 (前期は1,292百万円の減少) となりました。

これは、主に有形固定資産の取得による支出および差入保証金・店舗賃借仮勘定の支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は599百万円 (前期は502百万円の増加) となりました。

これは、主に短期借入金の減少によるものであります。

③キャッシュ・フローの指標トレンド

	平成18年8月期	平成19年8月期	平成20年8月期
自己資本比率 (%)	39.3	36.6	35.7
時価ベースの自己資本比率 (%)	66.0	33.7	25.4
債務償還年数(年) (注)	5.2	—	3.1
インタレスト・カバレッジ・レシオ (注)	10.0	—	19.2

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

債務償還年数：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

(注) 平成19年8月期は営業キャッシュ・フローがマイナスとなったため、債務償還年数およびインタレスト・カバレッジ・レシオの記載をしておりません。

【訂正後】

①当連結会計年度末の資産、負債、純資産の状況は次のとおりであります。

総資産 25,209百万円（前連結会計年度比 3.9%増）
 負債 15,856百万円（前連結会計年度比 3.0%増）
 純資産 9,352百万円（前連結会計年度比 5.4%増）

②当連結会計年度のキャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金および現金同等物（以下「資金」とする）は、前連結会計年度末に比べ761百万円増加し、2,807百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は、2,612百万円（前期は410百万円の減少）となりました。

これは、主に税金等調整前当期純利益の増加およびたな卸資産の減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は、1,251百万円（前期は1,292百万円の減少）となりました。

これは、主に有形固定資産の取得による支出および差入保証金・店舗賃借仮勘定の支出によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は599百万円（前期は502百万円の増加）となりました。

これは、主に短期借入金の減少によるものであります。

③キャッシュ・フローの指標トレンド

	平成18年8月期	平成19年8月期	平成20年8月期
自己資本比率（%）	39.3	36.6	37.1
時価ベースの自己資本比率（%）	66.0	33.7	25.4
債務償還年数（年）（注）	5.2	—	3.1
インタレスト・カバレッジ・レシオ（注）	10.0	—	19.2

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

債務償還年数：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

（注）平成19年8月期は営業キャッシュ・フローがマイナスとなったため、債務償還年数およびインタレスト・カバレッジ・レシオの記載をしておりません。

(8～9ページ) (1)連結貸借対照表

【訂正前】

区分	注記 番号	前連結会計年度 (平成19年8月31日)		当連結会計年度 (平成20年8月31日)	
		金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
(資産の部)					
I 流動資産					
1. 現金及び預金	※2	2,212,306		2,907,860	
2. 受取手形及び売掛金		650,350		781,687	
3. たな卸資産		9,925,462		9,412,901	
4. 繰延税金資産		195,754		236,534	
5. その他		543,981		618,451	
貸倒引当金		△46,403		—	
流動資産合計		13,481,452	55.6	13,957,435	55.4
II 固定資産					
1. 有形固定資産					
(1) 建物及び構築物	※2	3,903,194		3,964,165	
(2) 土地	※2	1,299,528		1,299,528	
(3) その他		214,314		219,126	
有形固定資産合計	※3	5,417,038	22.3	5,482,821	21.7
2. 無形固定資産					
(1) ソフトウェア		17,977		11,128	
(2) その他		56,681		71,037	
無形固定資産合計		74,658	0.3	82,165	0.3
3. 投資その他の資産					
(1) 投資有価証券	※1,2	835,522		724,401	
(2) 長期貸付金		570,219		541,132	
(3) 差入保証金		2,868,884		3,069,297	
(4) 繰延税金資産		89,857		105,515	
(5) その他		1,002,490		1,296,978	
貸倒引当金		△77,378		△50,529	
投資その他の資産合計		5,289,596	21.8	5,686,796	22.6
固定資産合計		10,781,293	44.4	11,251,784	44.6
資産合計		24,262,745	100.0	25,209,219	100.0

区分	注記 番号	前連結会計年度 (平成19年8月31日)		当連結会計年度 (平成20年8月31日)	
		金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
(負債の部)					
I 流動負債					
1. 支払手形、一括支払信託及び買掛金		5,449,110		5,693,759	
2. 短期借入金		1,100,000		800,000	
3. 1年内返済予定長期借入金	※2	2,310,424		2,500,000	
4. 未払法人税等		337,530		498,236	
5. 賞与引当金		263,137		339,004	
6. 役員賞与引当金		—		6,058	
7. 子会社整理損失引当金		—		350,000	
8. その他		531,227		947,321	
流動負債合計		9,991,429	41.2	11,134,379	44.2
II 固定負債					
1. 長期借入金	※2	5,060,000		4,715,000	
2. 役員退職慰労引当金		149,625		162,998	
3. その他		189,947		193,920	
固定負債合計		5,399,572	22.2	5,071,919	20.1
負債合計		15,391,002	63.4	16,206,298	64.3
(純資産の部)					
I 株主資本					
1. 資本金		2,544,409	10.5	2,544,409	10.1
2. 資本剰余金		3,998,161	16.5	3,998,161	15.9
3. 利益剰余金		2,434,846	10.0	2,633,425	10.4
4. 自己株式		△188,133	△0.7	△188,158	△0.7
株主資本合計		8,789,284	36.3	8,987,837	35.7
II 評価・換算差額等					
1. その他有価証券評価差額金		82,420	0.3	15,105	0.0
2. 繰延ヘッジ損益		37	0.0	△21	△0.0
評価・換算差額等合計		82,458	0.3	15,083	0.0
純資産合計		8,871,743	36.6	9,002,921	35.7
負債純資産合計		24,262,745	100.0	25,209,219	100.0

【訂正後】

区分	注記 番号	前連結会計年度 (平成19年8月31日)		当連結会計年度 (平成20年8月31日)	
		金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
(資産の部)					
I 流動資産					
1. 現金及び預金	※2	2,212,306		2,907,860	
2. 受取手形及び売掛金		650,350		781,687	
3. たな卸資産		9,925,462		9,412,901	
4. 繰延税金資産		195,754		236,534	
5. その他		543,981		618,451	
貸倒引当金		△46,403		—	
流動資産合計		13,481,452	55.6	13,957,435	55.4
II 固定資産					
1. 有形固定資産					
(1) 建物及び構築物	※2	3,903,194		3,964,165	
(2) 土地	※2	1,299,528		1,299,528	
(3) その他		214,314		219,126	
有形固定資産合計	※3	5,417,038	22.3	5,482,821	21.7
2. 無形固定資産					
(1) ソフトウェア		17,977		11,128	
(2) その他		56,681		71,037	
無形固定資産合計		74,658	0.3	82,165	0.3
3. 投資その他の資産					
(1) 投資有価証券	※1,2	835,522		724,401	
(2) 長期貸付金		570,219		541,132	
(3) 差入保証金		2,868,884		3,069,297	
(4) 繰延税金資産		89,857		105,515	
(5) その他		1,002,490		1,296,978	
貸倒引当金		△77,378		△50,529	
投資その他の資産合計		5,289,596	21.8	5,686,796	22.6
固定資産合計		10,781,293	44.4	11,251,784	44.6
資産合計		24,262,745	100.0	25,209,219	100.0

区分	注記 番号	前連結会計年度 (平成19年8月31日)		当連結会計年度 (平成20年8月31日)	
		金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
(負債の部)					
I 流動負債					
1. 支払手形、一括支払信託及び買掛金	※2	5,449,110		5,693,759	
2. 短期借入金		1,100,000		800,000	
3. 1年内返済予定長期借入金		2,310,424		2,500,000	
4. 未払法人税等		337,530		498,236	
5. 賞与引当金		263,137		339,004	
6. 役員賞与引当金		—		6,058	
7. その他		531,227		947,321	
流動負債合計		9,991,429	41.2	10,784,379	42.8
II 固定負債					
1. 長期借入金	※2	5,060,000		4,715,000	
2. 役員退職慰労引当金		149,625		162,998	
3. その他		189,947		193,920	
固定負債合計		5,399,572	22.2	5,071,919	20.1
負債合計		15,391,002	63.4	15,856,298	62.9
(純資産の部)					
I 株主資本					
1. 資本金		2,544,409	10.5	2,544,409	10.1
2. 資本剰余金		3,998,161	16.5	3,998,161	15.9
3. 利益剰余金		2,434,846	10.0	2,983,425	11.8
4. 自己株式		△188,133	△0.7	△188,158	△0.7
株主資本合計		8,789,284	36.3	9,337,837	37.1
II 評価・換算差額等					
1. その他有価証券評価差額金		82,420	0.3	15,105	0.0
2. 繰延ヘッジ損益		37	0.0	△21	△0.0
評価・換算差額等合計		82,458	0.3	15,083	0.0
純資産合計		8,871,743	36.6	9,352,921	37.1
負債純資産合計		24,262,745	100.0	25,209,219	100.0

(10ページ) (2)連結損益計算書

【訂正前】

区分	注記 番号	前連結会計年度 (自 平成18年9月1日 至 平成19年8月31日)			当連結会計年度 (自 平成19年9月1日 至 平成20年8月31日)		
		金額 (千円)		百分比 (%)	金額 (千円)		百分比 (%)
I 売上高	※1		37,517,836	100.0		43,174,339	100.0
II 売上原価			24,397,735	65.0		27,746,934	64.3
売上総利益			13,120,100	35.0		15,427,404	35.7
III 販売費及び一般管理費			12,202,443	32.6		13,806,328	32.0
営業利益			917,657	2.4		1,621,076	3.7
IV 営業外収益							
1. 受取利息			15,547			19,974	
2. 受取賃貸料			85,666			353,065	
3. 仕入割引			12,701			13,954	
4. 為替差益			1,485			—	
5. その他		43,983	159,384	0.4	66,093	453,089	1.1
V 営業外費用							
1. 支払利息		118,937			135,953		
2. 不動産賃借費用		—			327,511		
3. 為替差損		—			12		
4. その他		15,755	134,693	0.4	12,853	476,331	1.1
経常利益			942,348	2.4		1,597,834	3.7
VI 特別利益							
1. 貸倒引当金戻入益		—			3,647		
2. 退店補償金受入益		—			25,000		
3. 役員退職慰労引当金戻入益		53,424			—		
4. 譲受返還保証金		—			4,800		
5. その他		2,306	55,730	0.2	448	33,895	0.1
VII 特別損失							
1. 固定資産売却損	※2	56			—		
2. 固定資産除却損	※3	94,036			46,354		
3. 減損損失	※5	80,294			111,131		
4. ゴルフ会員権評価損		691			—		
5. 子会社整理損失引当金繰入		—			350,000		
6. 子会社事業売却損		—			35,483		
7. 退店損失	※4	8,267			56,104		
8. その他		—	183,345	0.5	4,768	603,842	1.4
税金等調整前当期純利益			814,734	2.1		1,027,887	2.4
法人税、住民税及び事業税		466,415			696,081		
法人税等追徴税額		16,099			—		
法人税等調整額		△5,695	476,819	1.2	△10,596	685,485	1.6
少数株主損失			53,458	0.1		—	—
当期純利益			391,373	1.0		342,402	0.8

【訂正後】

区分	注記 番号	前連結会計年度 (自 平成18年9月1日 至 平成19年8月31日)			当連結会計年度 (自 平成19年9月1日 至 平成20年8月31日)			
		金額 (千円)		百分比 (%)	金額 (千円)		百分比 (%)	
I 売上高	※1		37,517,836	100.0		43,174,339	100.0	
II 売上原価			24,397,735	65.0		27,746,934	64.3	
売上総利益			13,120,100	35.0		15,427,404	35.7	
III 販売費及び一般管理費			12,202,443	32.6		13,806,328	32.0	
営業利益				917,657	2.4		1,621,076	3.7
IV 営業外収益								
1. 受取利息			15,547			19,974		
2. 受取賃貸料			85,666			353,065		
3. 仕入割引			12,701			13,954		
4. 為替差益			1,485			—		
5. その他		43,983	159,384	0.4	66,093	453,089	1.1	
V 営業外費用								
1. 支払利息		118,937			135,953			
2. 不動産賃借費用		—			327,511			
3. 為替差損		—			12			
4. その他		15,755	134,693	0.4	12,853	476,331	1.1	
経常利益			942,348	2.4		1,597,834	3.7	
VI 特別利益								
1. 貸倒引当金戻入益		—			3,647			
2. 退店補償金受入益		—			25,000			
3. 役員退職慰労引当金戻入益		53,424			—			
4. 譲受返還保証金		—			4,800			
5. その他		2,306	55,730	0.2	448	33,895	0.1	
VII 特別損失								
1. 固定資産売却損	※2	56			—			
2. 固定資産除却損	※3	94,036			46,354			
3. 減損損失	※5	80,294			111,131			
4. ゴルフ会員権評価損		691			—			
5. 子会社事業売却損		—			35,483			
6. 退店損失	※4	8,267			56,104			
7. その他		—	183,345	0.5	4,768	253,842	0.6	
税金等調整前当期純利益			814,734	2.1		1,377,887	3.2	
法人税、住民税及び事業税		466,415			696,081			
法人税等追徴税額		16,099			—			
法人税等調整額		△5,695	476,819	1.2	△10,596	685,485	1.6	
少数株主損失			53,458	0.1		—	—	
当期純利益			391,373	1.0		692,402	1.6	

(11～12ページ) (3)連結株主資本等変動計算書

【訂正前】

前連結会計年度（自平成18年9月1日 至平成19年8月31日）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年8月31日 残高（千円）	2,544,409	3,998,161	2,127,822	△188,019	8,482,375
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当			△143,824		△143,824
当期純利益			391,373		391,373
自己株式の取得				△114	△114
少数株主持分の増減 （過年度修正）			59,474		59,474
株主資本以外の項目の連結会計 年度中の変動額（純額）					
連結会計年度中の変動額合計 （千円）	—	—	307,023	△114	306,909
平成19年8月31日 残高（千円）	2,544,409	3,998,161	2,434,846	△188,133	8,789,284

	評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券評 価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等 合計		
平成18年8月31日 残高（千円）	81,286	△4,917	76,369	112,932	8,671,677
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当					△143,824
当期純利益					391,373
自己株式の取得					△114
少数株主持分の増減 （過年度修正）				△59,474	—
株主資本以外の項目の連結会計 年度中の変動額（純額）	1,133	4,955	6,088	△53,458	△47,369
連結会計年度中の変動額合計 （千円）	1,133	4,955	6,088	△112,932	200,065
平成19年8月31日 残高（千円）	82,420	37	82,458	—	8,871,743

当連結会計年度（自平成19年9月1日 至平成20年8月31日）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成19年8月31日 残高（千円）	2,544,409	3,998,161	2,434,846	△188,133	8,789,284
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当			△71,911		△71,911
剰余金の配当（中間配当）			△71,911		△71,911
当期純利益			342,402		342,402
自己株式の取得				△25	△25
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額）					
連結会計年度中の変動額合計（千円）			198,578	△25	198,553
平成20年8月31日 残高（千円）	2,544,409	3,998,161	2,633,425	△188,158	8,987,837

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計	
平成19年8月31日 残高（千円）	82,420	37	82,458	8,871,743
連結会計年度中の変動額				
剰余金の配当				△71,911
剰余金の配当（中間配当）				△71,911
当期純利益				342,402
自己株式の取得				△25
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額）	△67,315	△59	△67,374	△67,374
連結会計年度中の変動額合計（千円）	△67,315	△59	△67,374	131,178
平成20年8月31日 残高（千円）	15,105	△21	15,083	9,002,921

【訂正後】

前連結会計年度（自平成18年9月1日 至平成19年8月31日）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年8月31日 残高（千円）	2,544,409	3,998,161	2,127,822	△188,019	8,482,375
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当			△143,824		△143,824
当期純利益			391,373		391,373
自己株式の取得				△114	△114
少数株主持分の増減 （過年度修正）			59,474		59,474
株主資本以外の項目の連結会計 年度中の変動額（純額）					
連結会計年度中の変動額合計 （千円）	—	—	307,023	△114	306,909
平成19年8月31日 残高（千円）	2,544,409	3,998,161	2,434,846	△188,133	8,789,284

	評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券評 価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等 合計		
平成18年8月31日 残高（千円）	81,286	△4,917	76,369	112,932	8,671,677
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当					△143,824
当期純利益					391,373
自己株式の取得					△114
少数株主持分の増減 （過年度修正）				△59,474	—
株主資本以外の項目の連結会計 年度中の変動額（純額）	1,133	4,955	6,088	△53,458	△47,369
連結会計年度中の変動額合計 （千円）	1,133	4,955	6,088	△112,932	200,065
平成19年8月31日 残高（千円）	82,420	37	82,458	—	8,871,743

当連結会計年度（自平成19年9月1日 至平成20年8月31日）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成19年8月31日 残高（千円）	2,544,409	3,998,161	2,434,846	△188,133	8,789,284
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当			△71,911		△71,911
剰余金の配当（中間配当）			△71,911		△71,911
当期純利益			692,402		692,402
自己株式の取得				△25	△25
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額）					
連結会計年度中の変動額合計（千円）			548,578	△25	548,553
平成20年8月31日 残高（千円）	2,544,409	3,998,161	2,983,425	△188,158	9,337,837

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計	
平成19年8月31日 残高（千円）	82,420	37	82,458	8,871,743
連結会計年度中の変動額				
剰余金の配当				△71,911
剰余金の配当（中間配当）				△71,911
当期純利益				692,402
自己株式の取得				△25
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額）	△67,315	△59	△67,374	△67,374
連結会計年度中の変動額合計（千円）	△67,315	△59	△67,374	481,178
平成20年8月31日 残高（千円）	15,105	△21	15,083	9,352,921

(13～14ページ) (4)連結キャッシュ・フロー計算書

【訂正前】

		前連結会計年度 (自 平成18年9月1日 至 平成19年8月31日)	当連結会計年度 (自 平成19年9月1日 至 平成20年8月31日)
区分	注記 番号	金額 (千円)	金額 (千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
1. 税金等調整前当期純利益		814,734	1,027,887
2. 減価償却費		396,510	400,535
3. 役員退職慰労引当金の増減額		△31,225	13,372
4. 貸倒引当金の増減額		46,403	△73,252
5. 退職給付引当金の減少額		△27,077	—
6. 受取利息及び受取配当金		△26,645	△31,651
7. 支払利息		118,937	135,953
8. ゴルフ会員権評価損		691	—
9. 固定資産除却損・売却損		94,092	46,354
10. 減損損失		80,294	111,131
11. 退店損失		8,267	56,104
12. 子会社整理損失引当金の増加額		—	350,000
13. 売上債権の増加額		△71,458	△167,032
14. たな卸資産の増減額		△2,896,069	512,560
15. 仕入債務の増加額		1,503,128	266,834
16. 未払消費税等の増減額		△3,551	228,752
17. その他		95,583	420,734
小計		102,616	3,298,285
18. 利息及び配当金の受取額		17,313	18,499
19. 利息の支払額		△135,663	△136,248
20. 法人税等の支払額		△394,987	△568,298
営業活動によるキャッシュ・フロー		△410,721	2,612,237

		前連結会計年度 (自 平成18年9月1日 至 平成19年8月31日)	当連結会計年度 (自 平成19年9月1日 至 平成20年8月31日)
区分	注記 番号	金額 (千円)	金額 (千円)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1. 定期預金の預入による支出		△215,995	△166,267
2. 定期預金の払出による収入		247,924	231,720
3. 投資有価証券の取得による支出		△7	△2,002
4. 有形固定資産の取得による支出		△441,021	△510,746
5. 有形固定資産の売却による収入		10	—
6. 差入保証金・店舗賃借仮勘定の支出		△600,955	△904,818
7. 差入保証金の返還による収入		66,403	25,000
8. その他		△348,398	75,156
投資活動によるキャッシュ・フロー		△1,292,040	△1,251,957
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1. 短期借入金の増減額		970,000	△300,000
2. 長期借入れによる収入		4,600,000	2,400,000
3. 長期借入金の返済による支出		△4,823,696	△2,555,424
4. 社債の償還による支出		△100,000	—
5. 配当金の支払額		△143,824	△143,823
6. 自己株式の取得による支出		△114	△25
財務活動によるキャッシュ・フロー		502,365	△599,272
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額		1,488	—
V 現金及び現金同等物の増減額		△1,198,907	761,007
VI 現金及び現金同等物の期首残高		3,245,408	2,046,501
VII 現金及び現金同等物の期末残高	※	2,046,501	2,807,509

【訂正後】

		前連結会計年度 (自 平成18年9月1日 至 平成19年8月31日)	当連結会計年度 (自 平成19年9月1日 至 平成20年8月31日)
区分	注記 番号	金額 (千円)	金額 (千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
1. 税金等調整前当期純利益		814,734	1,377,887
2. 減価償却費		396,510	400,535
3. 役員退職慰労引当金の増減額		△31,225	13,372
4. 貸倒引当金の増減額		46,403	△73,252
5. 退職給付引当金の減少額		△27,077	—
6. 受取利息及び受取配当金		△26,645	△31,651
7. 支払利息		118,937	135,953
8. ゴルフ会員権評価損		691	—
9. 固定資産除却損・売却損		94,092	46,354
10. 減損損失		80,294	111,131
11. 退店損失		8,267	56,104
12. 売上債権の増加額		△71,458	△167,032
13. たな卸資産の増減額		△2,896,069	512,560
14. 仕入債務の増加額		1,503,128	266,834
15. 未払消費税等の増減額		△3,551	228,752
16. その他		95,583	420,734
小計		102,616	3,298,285
17. 利息及び配当金の受取額		17,313	18,499
18. 利息の支払額		△135,663	△136,248
19. 法人税等の支払額		△394,987	△568,298
営業活動によるキャッシュ・フロー		△410,721	2,612,237

		前連結会計年度 (自 平成18年9月1日 至 平成19年8月31日)	当連結会計年度 (自 平成19年9月1日 至 平成20年8月31日)
区分	注記 番号	金額 (千円)	金額 (千円)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1. 定期預金の預入による支出		△215,995	△166,267
2. 定期預金の払出による収入		247,924	231,720
3. 投資有価証券の取得による支出		△7	△2,002
4. 有形固定資産の取得による支出		△441,021	△510,746
5. 有形固定資産の売却による収入		10	—
6. 差入保証金・店舗賃借仮勘定の支出		△600,955	△904,818
7. 差入保証金の返還による収入		66,403	25,000
8. その他		△348,398	75,156
投資活動によるキャッシュ・フロー		△1,292,040	△1,251,957
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1. 短期借入金の増減額		970,000	△300,000
2. 長期借入れによる収入		4,600,000	2,400,000
3. 長期借入金の返済による支出		△4,823,696	△2,555,424
4. 社債の償還による支出		△100,000	—
5. 配当金の支払額		△143,824	△143,823
6. 自己株式の取得による支出		△114	△25
財務活動によるキャッシュ・フロー		502,365	△599,272
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額		1,488	—
V 現金及び現金同等物の増減額		△1,198,907	761,007
VI 現金及び現金同等物の期首残高		3,245,408	2,046,501
VII 現金及び現金同等物の期末残高	※	2,046,501	2,807,509

(16～17ページ) 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

4. 会計処理基準に関する事項

(3) 重要な引当金の計上基準

【訂正前】

<p>前連結会計年度 (自 平成18年 9月 1日 至 平成19年 8月31日)</p>	<p>当連結会計年度 (自 平成19年 9月 1日 至 平成20年 8月31日)</p>
<p>4. 会計処理基準に関する事項</p> <p>(3) 重要な引当金の計上基準</p> <p>① 貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率法により、貸倒懸念債権等特定の債権については、財務内容評価法によっております。</p> <p>② 賞与引当金 従業員の賞与支給に充てるため、支給見込額のうち当連結会計年度対応額を計上しております。</p> <p>③ _____</p> <p>④ _____</p> <p>⑤ 役員退職慰労引当金 役員の退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。</p> <p>⑥ 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当連結会計年度末における退職給付債務および年金資産の見込額に基づき計上しております。年金資産見込額が退職給付債務見込額に未認識数理計算上の差異を加減した額を下回る場合には、当該差異を退職給付引当金として計上し、上回る場合には当該超過額を前払年金費用として計上しております。当連結会計年度末においては、前払年金費用(11,951千円)を固定資産の投資その他の資産「その他」に含めて計上しております。会計基準変更時差異(58,233千円)については、15年による按分額を費用処理することとし、数理計算上の差異については発生時の従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数(5年)による定額法により、発生年度の翌連結会計年度より損益処理することとしております。</p>	<p>4. 会計処理基準に関する事項</p> <p>(3) 重要な引当金の計上基準</p> <p>① 貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率法により、貸倒懸念債権等特定の債権については、財務内容評価法によっております。</p> <p>② 賞与引当金 従業員の賞与支給に充てるため、支給見込額のうち当連結会計年度対応額を計上しております。</p> <p>③ 役員賞与引当金 役員の賞与支給に充てるため、当連結会計年度末における支給見込額を計上しております。</p> <p>④ <u>子会社整理損失引当金</u> <u>子会社の整理に伴う損失に備えるため、子会社の財政状態を勘案して損失負担見込額を見積り計上しております。</u></p> <p>⑤ 役員退職慰労引当金 役員の退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。</p> <p>⑥ 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当連結会計年度末における退職給付債務および年金資産の見込額に基づき計上しております。年金資産見込額が退職給付債務見込額に未認識数理計算上の差異を加減した額を下回る場合には、当該差異を退職給付引当金として計上し、上回る場合には当該超過額を前払年金費用として計上しております。当連結会計年度末においては、前払年金費用(37,585千円)を固定資産の投資その他の資産「その他」に含めて計上しております。会計基準変更時差異(58,233千円)については、15年による按分額を費用処理することとし、数理計算上の差異については発生時の従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数(5年)による定額法により、発生年度の翌連結会計年度より損益処理することとしております。</p>

【訂正後】

<p>前連結会計年度 (自 平成18年 9月 1日 至 平成19年 8月31日)</p>	<p>当連結会計年度 (自 平成19年 9月 1日 至 平成20年 8月31日)</p>
<p>4. 会計処理基準に関する事項</p> <p>(3) 重要な引当金の計上基準</p> <p>① 貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率法により、貸倒懸念債権等特定の債権については、財務内容評価法によっております。</p> <p>② 賞与引当金 従業員の賞与支給に充てるため、支給見込額のうち当連結会計年度対応額を計上しております。</p> <p>③ _____</p> <p>④ 役員退職慰労引当金 役員の退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。</p> <p>⑤ 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当連結会計年度末における退職給付債務および年金資産の見込額に基づき計上しております。年金資産見込額が退職給付債務見込額に未認識数理計算上の差異を加減した額を下回る場合には、当該差異を退職給付引当金として計上し、上回る場合には当該超過額を前払年金費用として計上しております。当連結会計年度末においては、前払年金費用（11,951千円）を固定資産の投資その他の資産「その他」に含めて計上しております。会計基準変更時差異（58,233千円）については、15年による按分額を費用処理することとし、数理計算上の差異については発生時の従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数（5年）による定額法により、発生年度の翌連結会計年度より損益処理することとしております。</p>	<p>4. 会計処理基準に関する事項</p> <p>(3) 重要な引当金の計上基準</p> <p>① 貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率法により、貸倒懸念債権等特定の債権については、財務内容評価法によっております。</p> <p>② 賞与引当金 従業員の賞与支給に充てるため、支給見込額のうち当連結会計年度対応額を計上しております。</p> <p>③ 役員賞与引当金 役員の賞与支給に充てるため、当連結会計年度末における支給見込額を計上しております。</p> <p>④ 役員退職慰労引当金 役員の退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。</p> <p>⑤ 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当連結会計年度末における退職給付債務および年金資産の見込額に基づき計上しております。年金資産見込額が退職給付債務見込額に未認識数理計算上の差異を加減した額を下回る場合には、当該差異を退職給付引当金として計上し、上回る場合には当該超過額を前払年金費用として計上しております。当連結会計年度末においては、前払年金費用（37,585千円）を固定資産の投資その他の資産「その他」に含めて計上しております。会計基準変更時差異（58,233千円）については、15年による按分額を費用処理することとし、数理計算上の差異については発生時の従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数（5年）による定額法により、発生年度の翌連結会計年度より損益処理することとしております。</p>

【訂正前】

前連結会計年度末 (平成19年8月31日)	当連結会計年度末 (平成20年8月31日)
2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳	2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳
法定実効税率 (調整) 40.49 %	法定実効税率 (調整) 40.49 %
住民税均等割 6.26	住民税均等割 <u>5.40</u>
法人税等追徴税額 1.98	交際費等永久に損金に算入 されない項目 <u>0.49</u>
交際費等永久に損金に算入 されない項目 0.81	評価性引当金の増減額 <u>6.99</u>
評価性引当金の増減額 10.18	子会社整理損失引当金 <u>10.79</u>
その他 Δ 1.20	子会社欠損金等のうち 会計上認識されていない税効果 <u>3.12</u>
税効果会計適用後の 法人税等負担率 58.52	その他 <u>Δ0.59</u>
	税効果会計適用後の 法人税等負担率 <u>66.69</u>

【訂正後】

前連結会計年度末 (平成19年8月31日)	当連結会計年度末 (平成20年8月31日)
2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳	2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳
法定実効税率 (調整) 40.49 %	法定実効税率 (調整) 40.49 %
住民税均等割 6.26	住民税均等割 <u>4.03</u>
法人税等追徴税額 1.98	交際費等永久に損金に算入 されない項目 <u>0.36</u>
交際費等永久に損金に算入 されない項目 0.81	評価性引当金の増減額 <u>5.21</u>
評価性引当金の増減額 10.18	子会社欠損金等のうち 会計上認識されていない税効果 <u>2.32</u>
その他 Δ 1.20	輸入前渡金の損失認容 <u>Δ1.29</u>
税効果会計適用後の 法人税等負担率 58.52	その他 <u>Δ1.37</u>
	税効果会計適用後の 法人税等負担率 <u>49.75</u>

(35ページ) (1株当たり情報)

【訂正前】

前連結会計年度 (自 平成18年9月1日 至 平成19年8月31日)		当連結会計年度 (自 平成19年9月1日 至 平成20年8月31日)	
1株当たり純資産額	740円22銭	1株当たり純資産額	751円17銭
1株当たり当期純利益	32円65銭	1株当たり当期純利益	28円57銭
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	32円53銭	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	－円－銭
		潜在株式はありますが、希薄化しないため記載しておりません。	

(注) 1. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 平成19年8月31日	当連結会計年度 平成20年8月31日
連結貸借対照表の純資産の部の合計額(千円)	8,871,743	9,002,921
普通株式に係る純資産額(千円)	8,871,743	9,002,921
連結貸借対照表の純資産の部の合計額と1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式に係る連結会計年度末の純資産額との差額(千円)	—	—
普通株式の発行済株式数(千円)	12,320,787	12,320,787
普通株式の自己株式数(千円)	335,524	335,574
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数(株)	11,985,263	11,985,213

(注) 2. 1株当たり当期純利益金額および潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 平成18年9月1日 至 平成19年8月31日)	当連結会計年度 (自 平成19年9月1日 至 平成20年8月31日)
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益(千円)	391,373	342,402
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	391,373	342,402
期中平均株式数(株)	11,985,288	11,985,255
潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に用いられた普通株式増加数(株) (平成18年1月6日発行新株予約権)	46,574	—

【訂正後】

前連結会計年度 (自 平成18年9月1日 至 平成19年8月31日)		当連結会計年度 (自 平成19年9月1日 至 平成20年8月31日)	
1株当たり純資産額	740円22銭	1株当たり純資産額	780円37銭
1株当たり当期純利益	32円65銭	1株当たり当期純利益	57円77銭
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	32円53銭	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	—円—銭
		潜在株式はありますが、希薄化しないため記載しておりません。	

(注) 1. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 平成19年8月31日	当連結会計年度 平成20年8月31日
連結貸借対照表の純資産の部の合計額(千円)	8,871,743	9,352,921
普通株式に係る純資産額(千円)	8,871,743	9,352,921
連結貸借対照表の純資産の部の合計額と1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式に係る連結会計年度末の純資産額との差額(千円)	—	—
普通株式の発行済株式数(千円)	12,320,787	12,320,787
普通株式の自己株式数(千円)	335,524	335,574
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数(株)	11,985,263	11,985,213

(注) 2. 1株当たり当期純利益金額および潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 平成18年9月1日 至 平成19年8月31日)	当連結会計年度 (自 平成19年9月1日 至 平成20年8月31日)
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益(千円)	391,373	692,402
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	391,373	692,402
期中平均株式数(株)	11,985,288	11,985,255
潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に用いられた普通株式増加数(株) (平成18年1月6日発行新株予約権)	46,574	—